第 17 回比較防災学ワークショップ

17th Workshop for "Comparative Study on Urban Mega Disaster Management"

みんなで防災の知恵を共有しよう

平成 28 年度第 3 回災害対応研究会　公開シンポジウム

「国難と都市災害：来るべき国難にどのように備えるべきか−Ⅴ」

2017 年 1 月 23 日(月) 14:00～16:30　－　1 月 24 日(火)10:00～16:00

神戸国際会議場　5F　501 号室

趣　旨： 科学研究費補助金・基盤研究 S『「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策』、および文部科学省委託事業『都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」』の最終研究成果をもとに、来るべき南海トラフ地震対策を考える。

主　催： 京都大学防災研究所・巨大災害研究センター／
関西大学社会安全研究センター

共　催： 災害対応研究会

後　援： 日本自然災害学会・地域安全学会・日本災害情報学会
科学研究費補助金・基盤研究 S『「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策』
文部科学省委託事業　『都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」』

参加料： 無料

定　員： 140 名（当日先着）

プログラム：

変更がある場合もあります。　(敬称略)

【1月23日】　「何が明らかになったか」について研究代表者が語る

14:00～14:10	開会挨拶　関西大学社会安全研究センター　センター長・教授　河田惠昭
14:10～15:10	基調講演 1 『「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策』研究代表者 関西大学　社会安全研究センター　センター長・教授　河田惠昭
15:10～16:10	基調講演 2 『都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」』研究代表者 京都大学　防災研究所　特任教授　林　春男
16:10～16:30	質疑応答

【1月24日】　「研究の最前線をさぐる」

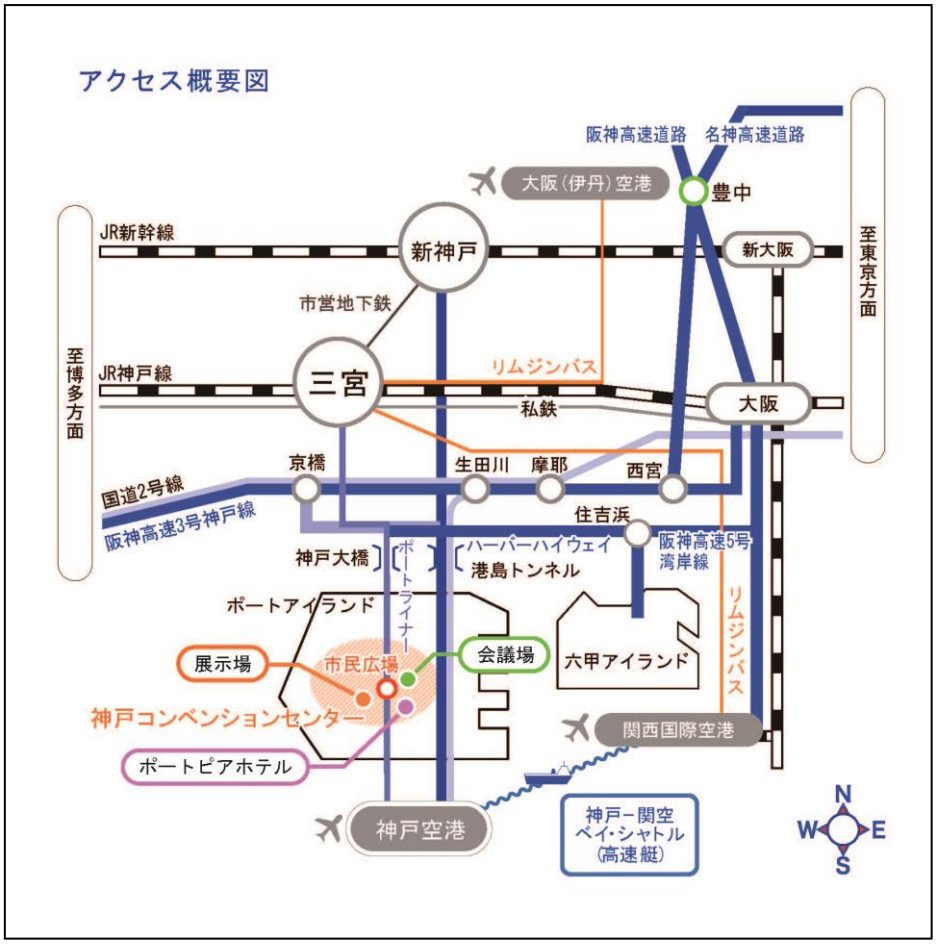
10:00～10:40	「国難にそなえる～災害時要配慮者想定から見えた対策と課題～」 新潟大学　危機管理室　教授　田村圭子
10:40～11:20	「都市減災ジオポータルの開発」 防災科学技術研究所　災害過程研究部門　主幹研究員　鈴木進吾
11:20～12:00	「国難的状況下における家庭生活の継続に関する課題と解決へのヒント」 東京大学　生産技術研究所　教授　目黒公郎
12:00～13:00	(昼食休憩)
13:00～13:40	「マイクロメディアサービスの設計と開発」 静岡大学　情報学部　講師　井ノ口宗成
13:40～14:20	「事前復興の意義と可能性－巨大複合災害を生き延びるために－」 明治大学大学院　政治経済学研究科　特任教授　中林一樹
14:20～15:00	「防災リテラシーハブの開発」 兵庫県立大学　環境人間学部　准教授　木村玲欧
15:00～16:00	パネルディスカッション モデレーター：関西大学　社会安全研究センター　センター長・教授　河田惠昭 パネリスト：話題提供者全員
16:00	閉会挨拶　京都大学　防災研究所　特任教授　林　春男

この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

● 神戸国際会議場 ●

http://kobe-cc.jp/access/index.html

神戸市中央区港島中町 6-9-1　TEL：078-302-5200



※記載の所要時間は乗り換え時間を含みません。